



asteria warp
Business Automation Platform

インストールガイド

ご注意

このソフトウェアの著作権は、インフォテリア株式会社に所属します。このソフトウェア及びマニュアルの一部または全部の使用、複製、開示は、本製品の使用許諾契約書に記された制約条件の下でのみ使用することができます。

このソフトウェアは、原子力、航空宇宙産業、医療あるいはその他の人命に危険が伴う用途を目的として開発されておりません。このソフトウェアを上述のような用途に使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生した場合にインフォテリア株式会社は一切責任を負いかねます。

このソフトウェアの仕様およびマニュアルは、将来予告無しに変更することがあります。

Infoteria、インフォテリア、ASTERIA は、インフォテリア株式会社の登録商標です。

このマニュアルに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその会社および製品を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

2007年6月13日

インフォテリア株式会社

Copyright © 2007 Infoteria Corp. All rights reserved.

目次

1. インストールの前に	1
1.1. ライセンスの取得	1
1.2. ユーザーの作成	1
1.3. 注意事項	1
2. サーバーのインストール	2
2.1. インストール手順	2
2.2. ライセンスキーの登録	22
3. フローデザイナーのインストール	23
4. インストール後	28
4.1. パイプラインサービス	28
4.2. フローサービス	31
5. アンインストール	34
5.1. サーバー アンインストール手順	34
5.2. フローデザイナー アンインストール手順	34

1. インストールの前に

1.1. ライセンスの取得

ASTERIA WARP サーバーを動作させるためにはライセンスキーが必要です。
ASTERIA WARP サーバーをインストールする前にライセンスキーを取得してください。

ライセンスキーの取得方法につきましては、下記【URL】を参照してください。

【URL】 http://www2.asteria.jp/warpuser/lic_doc.html

ライセンスの登録方法は「2.2 ライセンスキーの登録」を参照してください。

1.2. ユーザーの作成

ASTERIA WARP をインストールする前に、ASTERIA WARP を実行するためのユーザーを OS 上に作成する必要があります。管理ユーザー（root など）で ASTERIA WARP サーバーをインストールする際は、セキュリティに十分注意して運用を行ってください。

1.3. 注意事項

1.3.1. 旧バージョンからのアップデート

ASTERIA3 から ASTERIA WARP へのアップデートインストールはできません。アップデートするには「環境移行ガイド」をお読みください。

パイプラインサービスを旧バージョンでご利用していた方は、パイプラインコーディネーターの初回起動前にブラウザのキャッシュをクリアしてください。クリアしない場合、パイプラインコーディネーターを正常に表示できない場合があります。

1.3.2. 再インストール

ASTERIA WARP サーバーおよび ASTERIA WARP フローデザイナーの再インストールは、各ソフトウェアをアンインストールしてから再度インストールしてください。上書きインストールはできません。

サーバーをアンインストールする場合、データフォルダはそのまま再利用できます。再利用するには、再インストール時に「カスタムセットアップ」を選択し、「データフォルダの選択」画面で「データフォルダの初期化」のチェックをはずしてください。その他のサーバーの設定内容などは初期化されてしまいますので、バックアップ機能などによりバックアップしておくことをお勧めします。

2. サーバーのインストール

2.1. インストール手順

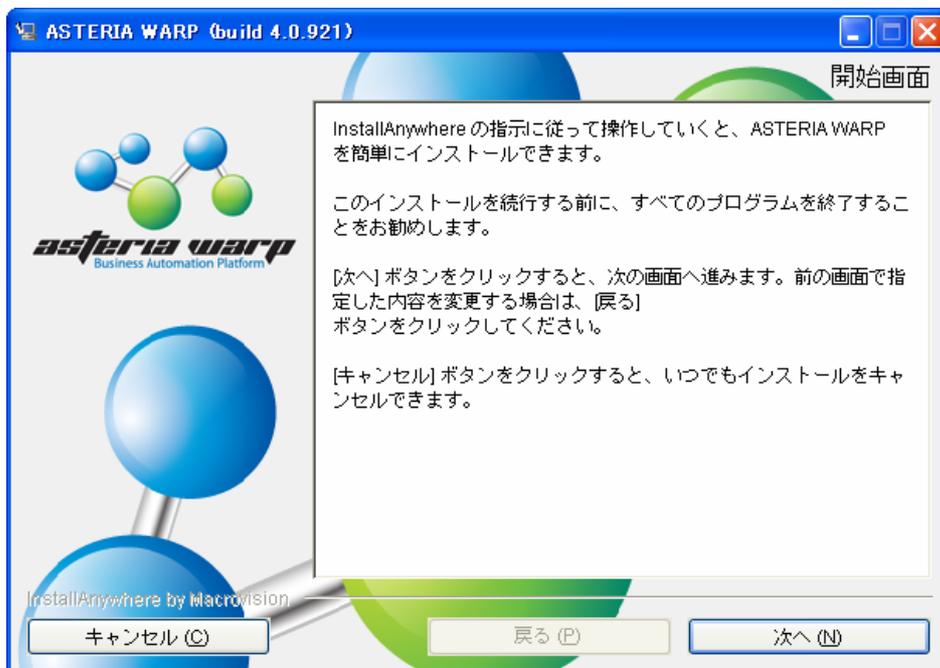
2.1.1. Windows の場合

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. インストール用の CD-ROM をドライブに挿入します。
3. 以下のファイルを実行し、ASTERIA WARP サーバー(以下、サーバーと呼びます)のインストーラーを実行します。

install-asteria-win-x86.exe (x86 版)

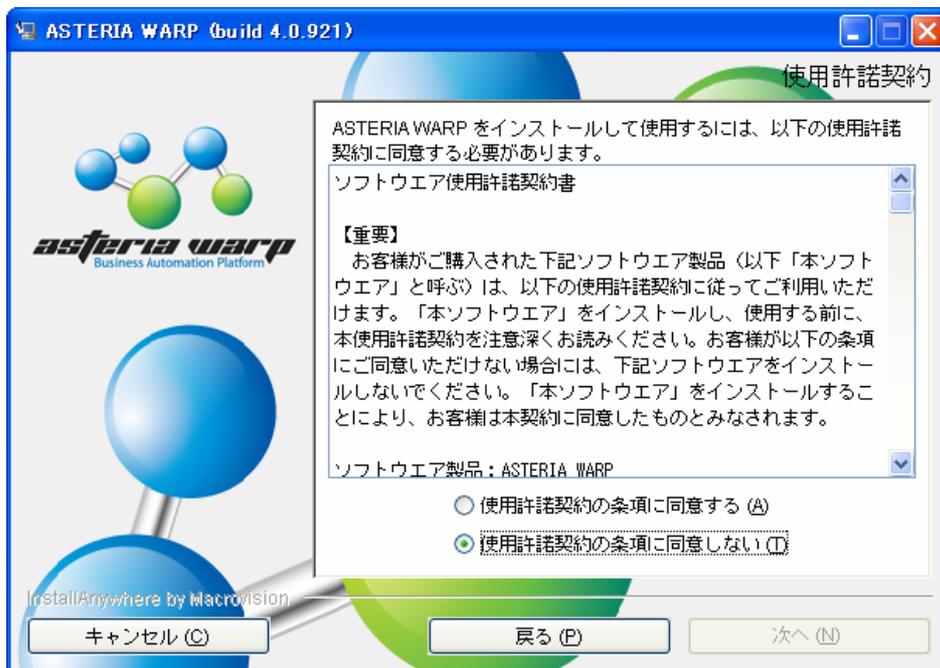
install-asteria-win-x64.exe (EM64T/AMD64 版)

4. 開始画面が表示されます。



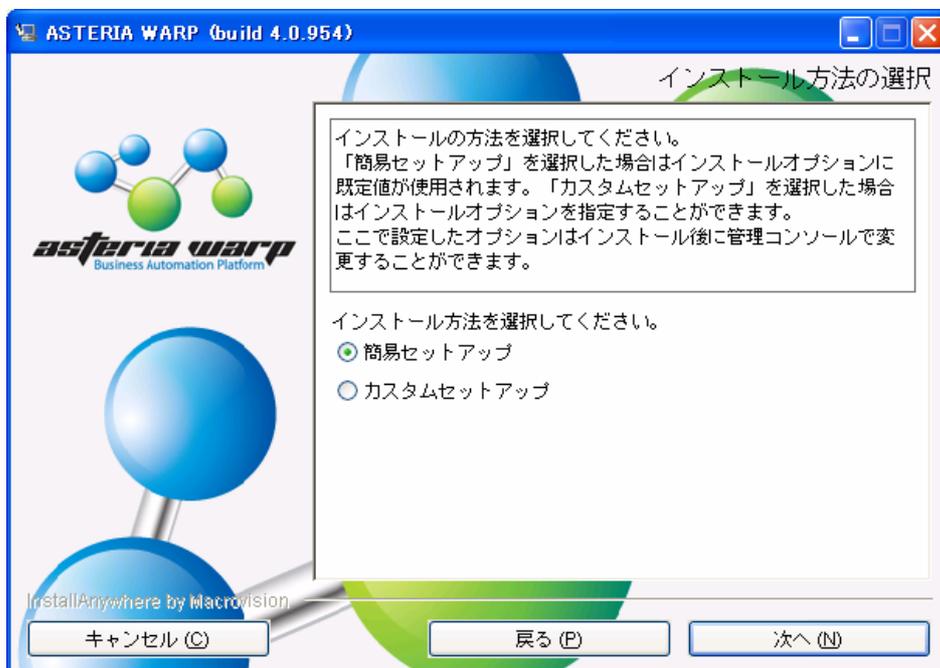
インストールに際しての注意事項が表示されますので文章を読んだ後「次へ」をクリックしてください。

5. 使用許諾契約画面が表示されます。



ソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

6. インストール方法の選択画面が表示されます。



「簡易セットアップ」または「カスタムセットアップ」を選択して、「次へ」をクリックしてください。

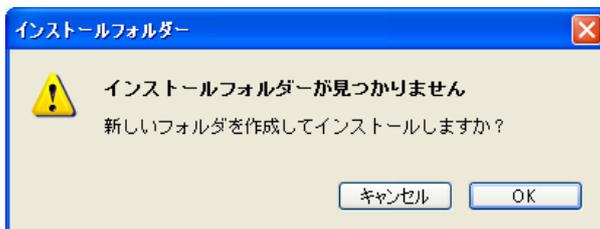
簡易セットアップ	標準の設定値を使ってインストールします。
カスタムセットアップ	各オプションを設定します。

7. ここからは 6. で「カスタムセットアップ」を選択した場合に表示されます。「簡易セットアップ」を選択した場合は、16. へお進みください。

8. インストールフォルダの選択画面が表示されます。



サーバーをインストールするフォルダを指定してください。指定したフォルダが存在しない場合は、次のダイアログが表示されます。フォルダを作成してインストールを進める場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



9. データフォルダの選択画面が表示されます。

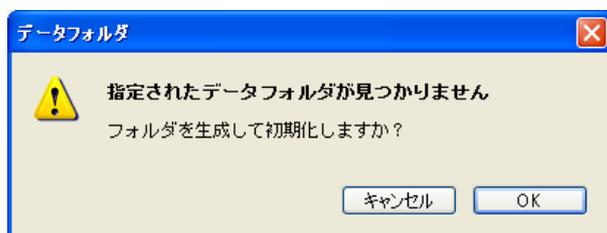


データを格納するフォルダを指定してください。

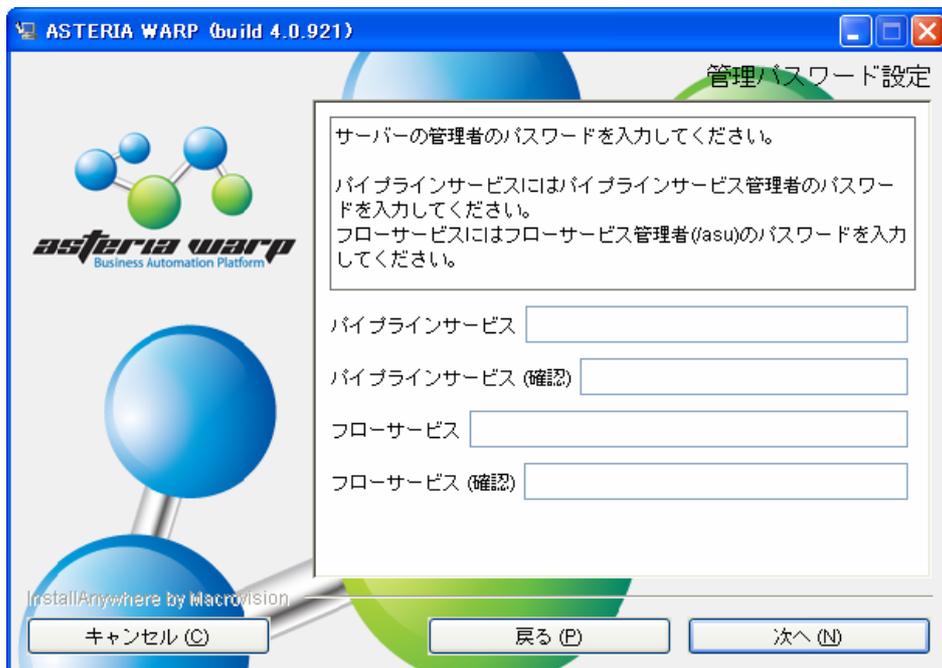
再インストールなどでデータフォルダを再利用する場合は、「データフォルダを初期化」のチェックをはずしてください。データフォルダの内容は更新されません。データフォルダを初期化しない場合、この先の管理ユーザーのパスワードを正しく入力しなければ正常に動作しなくなりますので十分注意してください。

「データフォルダを初期化」をチェックした場合、同名のフォルダが存在するとインストール時に別名で退避されます。

指定したフォルダが存在しない場合は、次のダイアログが表示されます。フォルダを作成してインストールを進める場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



10. 管理パスワード設定の画面が表示されます。



管理者パスワードをサービスごとに設定します。

パイプラインサービスのパスワードはパイプラインコーディネーターにログインするためのパスワードです。インストール後にパイプラインコーディネーターから変更することができます。

フローサービスのパスワードはフローサービスの管理者「/asu」のパスワードです。インストール後にフローサービス管理コンソールから変更することができます。

パスワードを設定したら「次へ」をクリックしてください。

11. ポート番号の設定画面が表示されます。



ここではサーバーで使用されるポート番号のベースオフセットを指定します。ベースオフセットとは、サーバーが使用するポート番号の基準となる番号です。例えば、「20000 番台」を選択した場合には、サーバーは 20000 番台のポートを使用します。ベースオフセットを選択したら「次へ」をクリックしてください。

12. パイプラインサービスポート設定の画面が表示されます。



ここではパイプラインサービスで使用するポート番号を指定します。

コーディネーター	パイプラインコーディネーターのポート番号を指定します。
HTTP	センサーで使用する HTTP サーバーのポート番号を指定します。

ポート番号を設定したら「次へ」をクリックしてください。

13. フローサービスポート設定の画面が表示されます。



ここではフローサービスで使用するポート番号を指定します。

管理コンソール	フローサービス管理コンソールのポート番号を指定します。
HTTP	フローサービスで使用する HTTP サーバーのポート番号を指定します。
HTTPS(SSL)	フローサービスで使用する HTTPS サーバーのポート番号を指定します。
デザイナー用	デザイナーや flow-ctrl などからフローサービスにアクセスするためのポート番号を指定します。

ポート番号を設定したら「次へ」をクリックしてください。

14. Windows サービスの登録画面が表示されます。

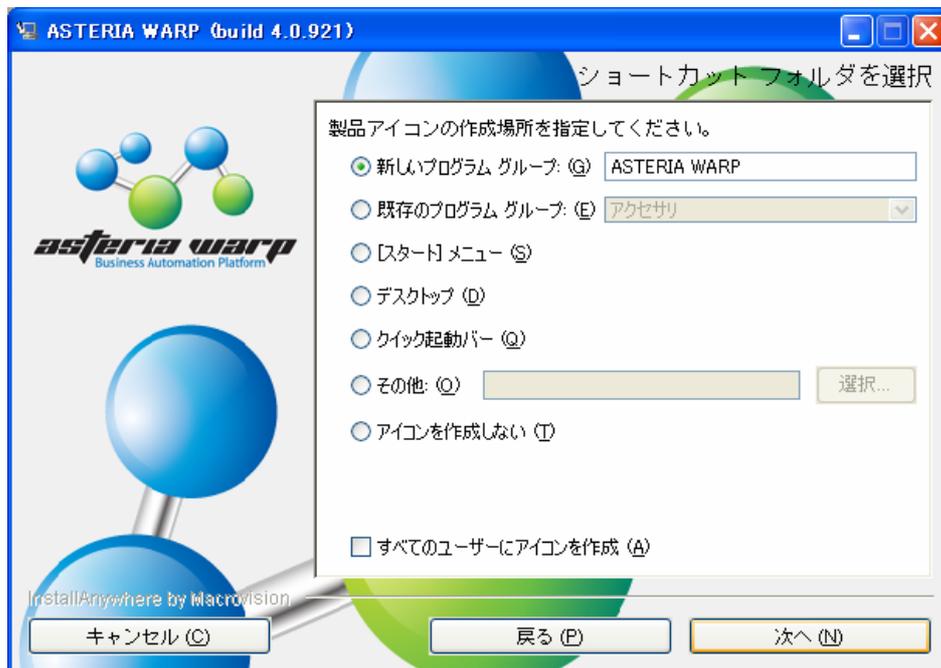


ここでは Windows サービスに登録するかどうかを選択します。

「Windows サービスを登録します」をチェックした場合、Windows サービスとして登録され、サービス実行ができるようになります。

設定したら「次へ」をクリックしてください。

15. ショートカットフォルダの選択画面が表示されます。



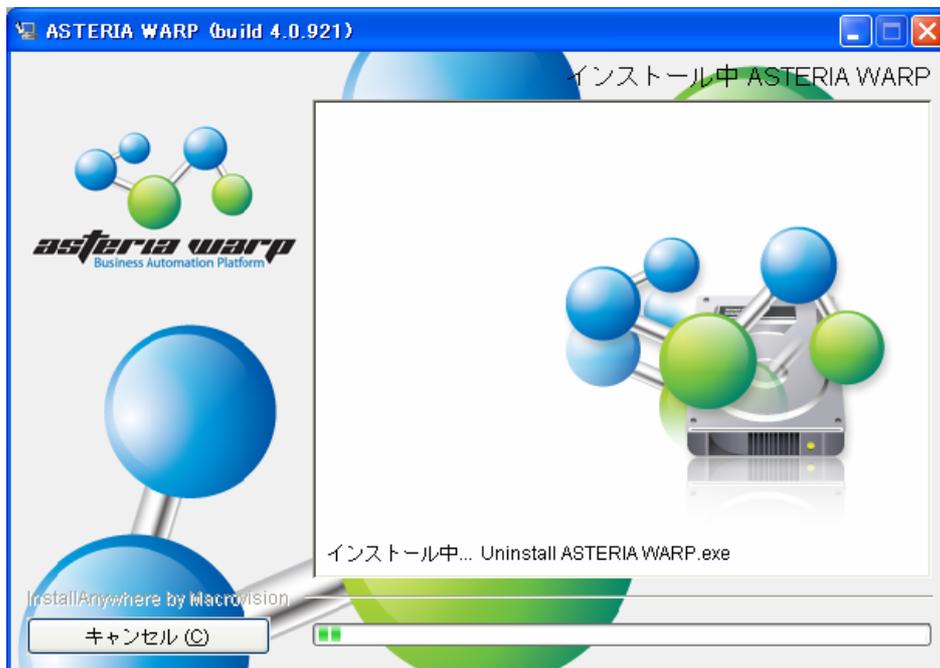
スタートメニューに登録する際のショートカットを作成する場所を選択します。
ショートカットフォルダを選択したら「次へ」をクリックしてください。

16. インストール前の要約画面が表示されます。



内容を確認したら「インストール」をクリックしてください。

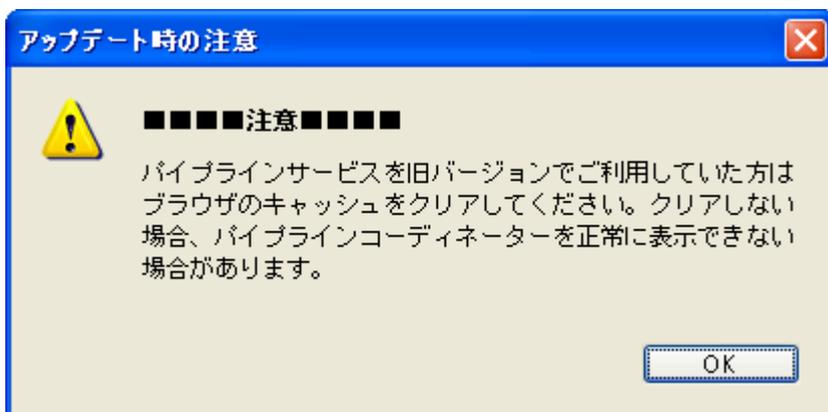
17. インストールが開始されます。



18. インストールが完了するとインストール完了画面が出てくるので「完了」をクリックします。



19. アップデート時の注意が表示されます。内容を確認したら「OK」をクリックしてインストーラーを終了してください



2.1.2. Linux/Solaris の場合

1. インストールユーザーでログインします。
2. インストール用の CD-ROM をドライブに挿入します。
3. CD-ROM のディレクトリへ移動します。

```
# cd /cdrom/as_4.0.1.995_cd1
```

(下線部「4.0.1.995」はバージョンによって異なることがあります。)

4. サーバーのインストーラーを確認します。

Linux

install-asteria-linux-x86.bin (x86 版)

Solaris

install-asteria-solaris-sparc.bin (SPARC 版)

install-asteria-solaris-x86.bin (x86 版)

5. サーバーのインストーラーを実行します。

以後、Linux の場合でインストール手順を説明します。Solaris の場合、インストーラーのファイル名、後述のディスク容量情報以外は Linux の場合と同じです。

```
# ./install-asteria-linux-x86.bin
```

6. 開始画面が表示されますので<ENTER>キーを押します。

```
=====  
開始画面
```

```
----
```

InstallAnywhere の指示に従って操作していくと、ASTERIA WARP を簡単にインストールできます。

このインストールを続行する前に、すべてのプログラムを終了することをお勧めします。

各指示に従って操作すると、次のインストール手順へ進むことができます。前の手順で指定した内容を変更する場合は、[戻る] ボタンをクリックしてください。

[終了] ボタンをクリックすると、いつでもインストールをキャンセルできます。

続行するには <ENTER> キーを押します。:

7. 使用許諾契約の画面が表示されます。<ENTER>キーを押すと先に進みます。表示されるソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「Y」、同意しない場合は「N」を入力して<ENTER>キーを押してください。

```
=====
使用許諾契約
-----

ASTERIA WARP をインストールして使用するには、以下のライセンス契約に同意する必要があります：

ソフトウェア使用許諾契約書

.....

この使用許諾契約の条項に同意しますか。 (Y/N):
```

8. インストール方法の選択画面が表示されます。「簡易セットアップ」の場合は「1」を、「カスタムセットアップ」の場合は「2」を入力して<ENTER>キーを押してください。
(各セットアップの内容は Windows 版の手順を参照してください。)

```
=====
インストール方法の選択
-----

インストールの方法を選択してください。
「簡易セットアップ」を選択した場合はインストールオプションに既定値が使用されます。
「カスタムセットアップ」を選択した場合はインストールオプションを指定することができます。
ここで設定したオプションはインストール後に管理コンソールで変更することができます。

->1- 簡易セットアップ
    2- カスタムセットアップ

選択する項目の番号を入力するか、デフォルトを使用する場合は <ENTER> キーを押してください。:
```

9. ここからは 8. で「カスタムセットアップ」を選択した場合に表示されます。「簡易セットアップ」を選択した場合は、18. へお進みください。

10. インストールフォルダの選択画面が表示されます。サーバーをインストールするフォルダを指定してください。

```
=====
インストール フォルダを選択
-----

インストール場所を指定してください。

デフォルトのインストール フォルダ: /home/user/asteriawarp

絶対パスを入力するか、<ENTER> キーを押してデフォルトを受け入れてください。
:
```

11. データフォルダの選択画面が表示されます。データを格納するフォルダを指定してください。

```
=====
データフォルダの選択
-----

ユーザーデータを格納するフォルダを入力してください。
相対パスを指定した場合は/home/user の下のフォルダになります。
デフォルトは、/home/user/asteriahome です。

データフォルダ (DEFAULT: asteriahome):
```

12. データフォルダを初期化するかどうかを選択します。

データフォルダを初期化する場合は「1」を、再インストールなどでデータフォルダを再利用する場合は、「2」を入力してください。<ENTER>キーを押してください。

「1」を選択した場合、同名のフォルダが存在するとそのフォルダはインストール時に別名で退避されます。

「2」を選択した場合データフォルダの内容は更新されません。この場合、この先の管理ユーザーのパスワードを正しく入力しなければ正しくインストールできませんので十分注意してください。

```
=====
データフォルダを初期化しますか？
-----

「初期化する」を選択した場合、既存のデータフォルダは移動され、新しいデータフォルダが作成されます。
「初期化しない」を選択した場合、指定されたフォルダの内容がそのままデータフォルダとして使用されます。

->1- 初期化する
    2- 初期化しない

選択する項目の番号を入力するか、デフォルトを使用する場合は <ENTER> キーを押してください。:
```

13. パイプラインサービスのパスワードを入力します。確認のため、2度同じパスワードを入力してください。

パイプラインサービスのパスワードはパイプラインコーディネーターにログインするためのパスワードです。インストール後にパイプラインコーディネーターから変更することができます。

```
=====
パイプラインサービスのパスワードの入力
-----

パイプラインサービスを管理するためのパスワードを入力してください。

パスワード:*

=====

パイプラインサービスを管理するためのパスワードをもう一度入力してください。

パスワード(再入力):*
```

14. フローサービスのパスワードを入力します。確認のため、2度同じパスワードを入力してください。

フローサービスのパスワードはフローサービスの管理者「/asu」のパスワードです。インストール後にフローサービス管理コンソールから変更することができます。

```
=====  
フローサービスのパスワードの入力  
-----
```

フローサービスを管理するためのパスワード(/asu ユーザーのパスワード)を入力してください。

パスワード:*

```
=====  
フローサービスを管理するためのパスワードをもう一度入力してください。
```

パスワード(再入力):*

15. ポート番号を設定します。

ここではサーバーで使用されるポート番号のベースオフセットを指定します。

ベースオフセットとは、サーバーが使用するポート番号の基準となる番号です。

例えば、「20000 番台」を選択した場合には、サーバーは 20000 番台のポートを使用します。

```
=====  
ポート番号の設定  
-----
```

サーバーで使用されるポート番号のベースオフセット数を指定します。

例えば、「20000 番台」を選択すると、内部ポートは「20000」番台の値で自動設定されます。

->1- 20000 番台

2- 30000 番台

3- 40000 番台

選択する項目の番号を入力するか、デフォルトを使用する場合は <ENTER> キーを押してください。:

16. パイプラインサービスで利用するポート番号を指定します。

指定したベースオブセットによってデフォルトのポート番号が表示されます。変更したい場合は各ポート番号を指定してください。各ポートの詳細は Windows 版の手順を参照してください。

また、1024 番以下のポートを利用するには、サーバーを root ユーザーでインストール、実行する必要があります。

```
=====
パイプラインサービスのポート番号
-----

パイプラインサービスのポート番号を入力してください。空の場合は次のポート番号になります。

コーディネーター : 25080
HTTP : 25380

コーディネーター (DEFAULT: デフォルト値):

HTTP (DEFAULT: デフォルト値):
```

17. フローサービスで利用するポート番号を指定します。

指定したベースオフセットによってデフォルトのポート番号が表示されます。変更したい場合は各ポート番号を指定してください。各ポートの詳細は Windows 版の手順を参照してください。

また、1024 番以下のポートを利用するには、サーバーを root ユーザーでインストール、実行する必要があります。

```
=====
フローサービスのポート番号
```

```
-----
```

フローサービスのポート番号を入力してください。空の場合は次のポート番号になります。

管理コンソール : 28080

HTTP : 21380

HTTPS : 21443

デザイナー : 21381

管理コンソール (DEFAULT: デフォルト値):

HTTP (DEFAULT: デフォルト値):

HTTPS (DEFAULT: デフォルト値):

デザイナー用 (DEFAULT: デフォルト値):

18. インストールの要約が表示されます。内容が正しければ<ENTER>キーを押してください。

```
=====
インストール前の要約
-----

操作を続ける前に、以下の内容を確認してください。

製品名:
  ASTERIA WARP

インストール フォルダ:
  /home/user/asteriawarp

データフォルダ
  /home/user/asteriahome

ディスク容量情報 (インストール先):
  必要なディスク容量: 188,028,958 バイト
  使用可能なディスク容量: 2,354,642,944 バイト

続行するには <ENTER> キーを押します。:
```

19. インストールが開始されます。

```
=====
インストール中...
-----

[=====|=====|=====|=====]
[-----|-----|-----]
```

20 . インストールが完了するとプロンプトが戻ってきます。

```
=====
インストール中...
-----

[=====|=====|=====|=====]
[-----|-----|-----|-----]
#
```

2.2. ライセンスキーの登録

ASTERIA WARP サーバーはライセンスキーを登録しなければ動作しません。ライセンスキーの登録は次の手順でおこないます。

2.2.1. 新規登録の場合

初めて ASTERIA WARP を利用する場合や、評価版ライセンスから正規ライセンスへ移行する場合などはこの手順でライセンスキーを登録します。

1. 次のいずれかの方法でライセンスキーを登録します。

(ア) ファイルをコピーします

[INSTALL_DIR]/license/license.txt にライセンスファイルをコピーします。

(イ) ファイルにキーコードを追加します。

[INSTALL_DIR]/license/license.txt をテキストエディタで開きます。

下のよう書かれていますので、太字のようにライセンスキーコードを追加します。

```
#####  
# Please add the license key code under here.  
#####  
XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
```

2. サーバーを起動します。

2.2.2. ライセンスを追加する場合

フローサービスのオプションを追加する場合や、ASTERIA WARP Lite のアクションを追加する場合などはこの手順でライセンスキーを登録します。

1. [INSTALL_DIR]/license/license.txt をテキストエディタで開きます。

下のよう書かれていますので、太字のようにライセンスキーコードを追加します。

```
#####  
# Please add the license key code under here.  
#####  
XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX  
YYYY-YYYY-YYYY-YYYY-YYYY-YYYY-YYYY-YYYY-YYYY-YYYY
```

2. サーバーを起動します。

3. フローデザイナーのインストール

フローサービスを利用する場合、フローを設計するための ASTERIA WARP フローデザイナー (以下、フローデザイナーと呼びます)を開発用のマシンにインストールしなければなりません。手順は以下のとおりです。

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. インストール用の CD-ROM をドライブに挿入します。
3. 以下のファイルを実行します。
install-designer-win-x86.exe
4. インストールに際しての注意事項が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



5. 使用許諾契約の画面が表示されます。



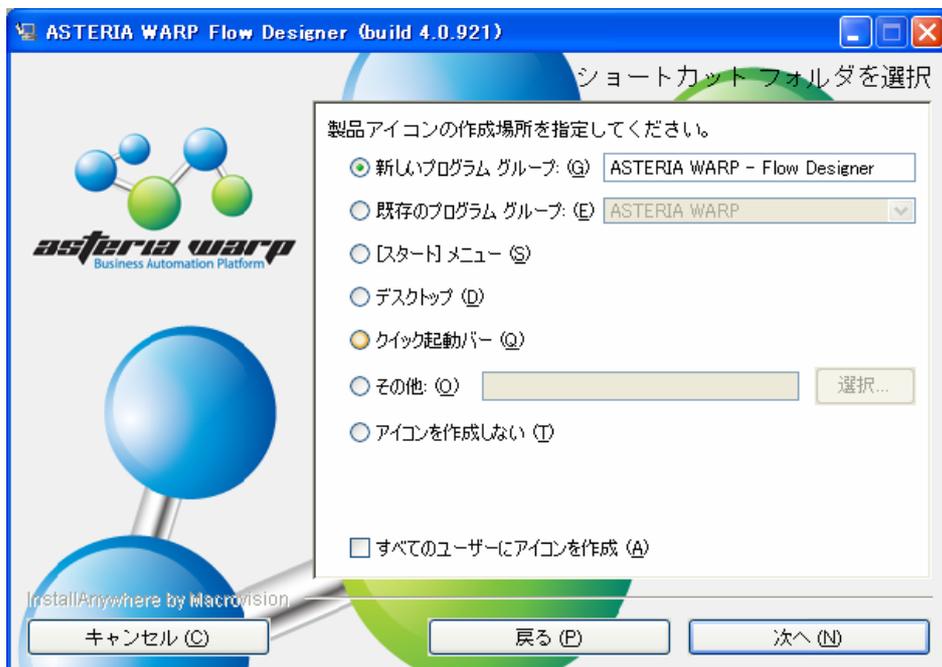
ソフトウェア仕様許諾契約書をよく読み、同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

6. インストールフォルダの選択画面が表示されます。



フローデザイナーをインストールするフォルダを指定して「次へ」をクリックしてください。

7. ショートカットフォルダの選択画面が表示されます。



フローデザイナーをスタートメニューに登録する際のショートカットを作成する場所を選択します。

ショートカットフォルダを選択したら「次へ」をクリックしてください。

8. インストール前の要約画面が表示されます。



内容を確認したら「インストール」をクリックしてください。

9. インストールが開始されます。



10. インストールが完了するとインストール完了画面が出てくるので「完了」をクリックしてインストーラーを終了してください。



4. インストール後

4.1. パイプラインサービス

4.1.1. パイプラインサービスの起動

パイプラインサービスは次のいずれかの方法で起動できます。

- Windows サービスからの起動

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA WARP Pipeline Service」を起動します。

- Windows スタートメニューからの起動

Windows のスタートメニューから「ASTERIA WARP」-「パイプラインサービス開始」を実行します。

インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

- UNIX コンソールからの起動

サーバーにインストールユーザーでログインし、`[INSTALL_DIR]/pipeline/bin/plsvc` を実行します。

4.1.2. パイプラインサービスの停止

パイプラインサービスは次のいずれかの方法で停止できます。

起動方法に応じた停止方法でサービスを停止してください。

- Windows サービスからの起動

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA WARP Pipeline Service」を停止します。

- Windows スタートメニューからの起動

Windows のスタートメニューから「ASTERIA WARP」-「パイプラインサービス停止」を実行します。

インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

- UNIX コンソールからの起動

サーバーにインストールユーザーでログインし、`[INSTALL_DIR]/pipeline/bin/plstop` を実行します。

4.1.3. パイプラインコーディネーターへのアクセスについて

パイプラインサービスの各種設定、ログの参照などは、「パイプラインコーディネーター」にて行います。利用するには、Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

`http://<server>:25080/`

< server > 部分は、サーバーをインストールしたマシンの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

◆ バージョンアップ時の注意

パイプラインサービスを旧バージョンでご利用していた方は、パイプラインコーディネーターの初回起動前にブラウザのキャッシュを以下の手順でクリアしてください。クリアしない場合、パイプラインコーディネーターを正常に表示できない場合があります。

- ・ Windows Internet Explorer 7 の場合
 1. 「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックします。
 2. 表示された「インターネットオプション」画面で「全般」タブの「閲覧の履歴」の「削除」ボタンをクリックします。
 3. 「閲覧の履歴の削除」画面で、インターネット一時ファイルの「ファイルの削除」ボタンをクリックします。
- ・ Mozilla Firefox 2 の場合
 1. 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
 2. 表示された「オプション」画面で「詳細」項目の「ネットワーク」タブを表示します。
 3. 「キャッシュ」の「今すぐ消去」ボタンをクリックします。

4.1.4. パイプラインコーディネーターへのログインについて

パイプラインコーディネーターへはトップページにて、「パスワード」の欄にインストーラーで設定したパイプラインサービス管理ユーザーのパスワードを入力し、ログインします。



4.1.5. パイプラインサービスの利用方法について

パイプラインサービスの詳細については「パイプラインサービス マニュアル」を参照ください。
「パイプラインサービス マニュアル」はドキュメント CD、または製品サイトからアクセスできます。

- 「パイプラインサービス マニュアル」
 - はじめに
 - コーディネーター操作ガイド
 - アクションリファレンス
 - 運用ガイド

4.2. フローサービス

4.2.1. フローサービスの起動

フローサービスは次のいずれかの方法で起動できます。

- Windows サービスからの起動

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA WARP Flow Service」を起動します。

- Windows スタートメニューからの起動

Windows のスタートメニューから「ASTERIA WARP」-「フローサービス開始」を実行します。
インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

- UNIX コンソールからの起動

サーバーにインストールユーザーでログインし、`[INSTALL_DIR]/flow/bin/flowsvc` を実行します。

4.2.2. フローサービスの停止

フローサービスは次のいずれかの方法で停止できます。

起動方法に応じた停止方法でサービスを停止してください。

- Windows サービスからの起動

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA WARP Flow Service」を停止します。

- Windows スタートメニューからの起動

Windows のスタートメニューから「ASTERIA WARP」-「フローサービス停止」を実行します。
インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

- UNIX コンソールからの起動

サーバーにインストールユーザーでログインし、`[INSTALL_DIR]/flow/bin/fsstop` を実行します。

4.2.3. フローデザイナーの起動

フローサービスで動作させるフローは、開発用のマシンにインストールしたフローデザイナーを使って開発します。

フローデザイナーは、Windows のスタートメニューから「ASTERIA WARP – Flow Designer」-「フローデザイナー」を実行することで起動できます。

インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

4.2.4. フローサービス管理コンソールへのアクセスについて

フローサービスで利用するユーザーの作成や各種設定、ログの参照、サービスの起動設定などは、

「フローサービス管理コンソール」にて行います。利用するには、Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

http:// < server > :28080/

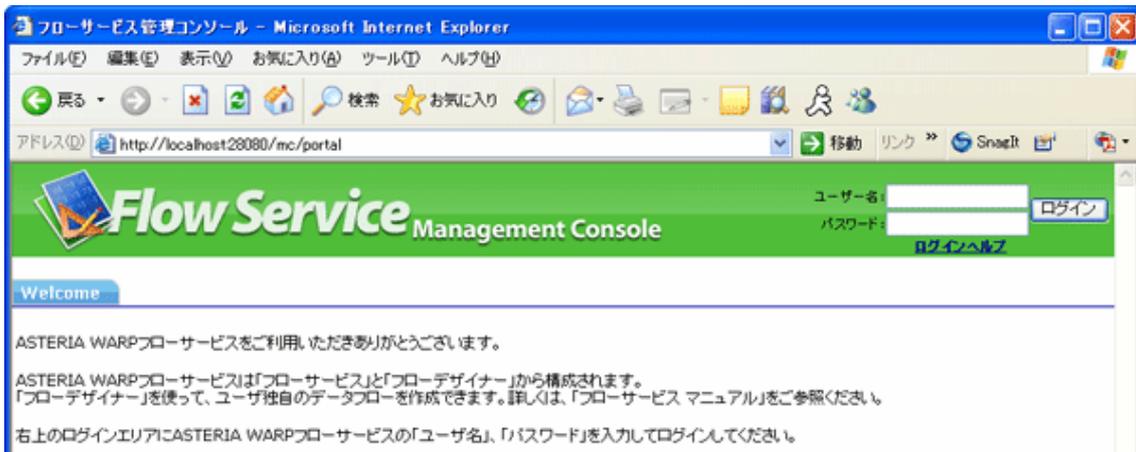
< server > 部分は、サーバーをインストールしたマシンの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

4.2.5. フローサービス管理コンソールへのログインについて

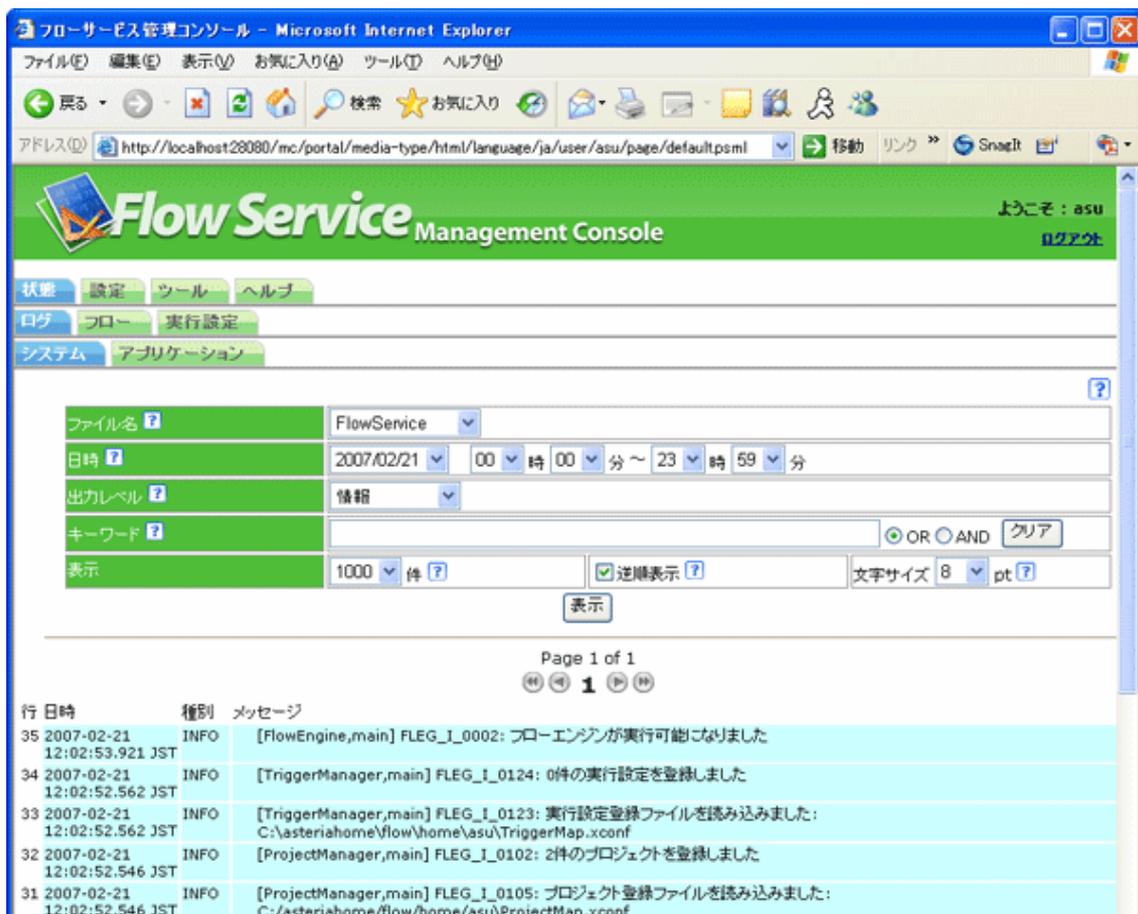
フローサービス管理コンソールのトップページにて、「ユーザー名」「パスワード」の各欄にフローサービス管理ユーザーの情報を入力し、設定画面へログインします。

インストール直後の場合は、フローサービス管理ユーザーのパスワードはインストーラーで入力した内容が登録されています。「/asu」ユーザーとしてログインします。以下のように入力します。

ユーザー名	/asu
パスワード	(インストール時に設定した、フローサービス管理者のパスワード)



ログインすると、以下の画面が表示されます。



4.2.6. フローサービスの利用方法について

フローサービスの詳細については次のドキュメントを参照ください。

いずれのドキュメントも、ドキュメント CD、または製品サイトからアクセスできます。

- 「フローサービス マニュアル」
(フローデザイナーの「ヘルプ」-「ヘルプ」メニューからもアクセスできます。)
 - はじめに
 - フローデザイナー操作ガイド
 - コンポーネントリファレンス
 - マッパー関数リファレンス
 - 運用ガイド
- 「フローサービス管理コンソール オンラインヘルプ」
(フローサービス管理コンソールの「ヘルプ」-「ヘルプリンク」メニューからもアクセスできます。)

5. アンインストール

5.1. サーバー アンインストール手順

5.1.1. Windows の場合

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. サーバーを実行中の場合はサーバーを終了します。
3. スタートメニューから「アンインストール ASTERIA WARP」を実行します。
4. 必要に応じてデータフォルダを削除します。

インストールフォルダには一部のファイルが残ることがあります。完全にアンインストールするには、アンインストール実行後にインストールフォルダを削除してください。データフォルダはアンインストールされません。完全にアンインストールするにはデータフォルダも削除してください。

サーバーなどが実行中の場合、アンインストールが正しく実行されない場合があります。必ず終了させてからアンインストールを実行してください。

5.1.2. Linux/Solaris の場合

1. インストールユーザーで OS にログインします。
2. サーバーを実行中の場合はサーバーを終了します。
3. インストールフォルダを削除コマンドで削除します。
4. 必要に応じてデータフォルダを削除します。

削除コマンドの使い方は OS のマニュアル等を参考にしてください。

サーバーなどが実行中の場合、アンインストールが正しく実行されない場合があります。必ず終了させてからアンインストールを実行してください。

5.2. フローデザイナー アンインストール手順

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. フローデザイナーを実行中の場合はデザイナーを終了します。
3. スタートメニューから「アンインストール ASTERIA WARP Flow Designer」を実行します。